

平成 28 年 6 月 1 日
教育企画課

「第 1 回富山県教育振興基本計画策定委員会」の設置について

標記の委員会を設置し、去る 5 月 27 日に開催しましたのでご報告します。

1 設置目的

本年 3 月に策定された富山県教育大綱の内容に即して、新たな教育振興基本計画を策定する

2 委員構成 (H27. 6. 1 現在)

委員 15 名 (行政、大学、経済界、女性団体、保護者等)

専門委員 5 名 (校長会 (小中高)、体育連盟 (中高))

アドバイザー 3 名

3 第 1 回策定委員会の概要

(1) 日 時 平成 28 年 5 月 27 日 (金) 10:00~11:30 県民会館

(2) 説明・報告事項 ※資料 3, 4

(3) 主な意見

- ・小さい時から子どもたちを地域で育てて、地域のことを学んでもらい、そして、大人になっても地域で活動してほしい。
- ・夢や目標を持っている子どもの割合が下がっているようだが、少し気になるデータである。
- ・新しく大綱で追加された文化などを子どもたちにしっかりと伝えることが、道徳心にも心の豊かな成長にもつながる。心が豊かに成長することによって、「夢や希望」につながっていくのではないか。
- ・遊びの中には、学力の 3 要素がすべて入っており、学力と結びつくような集団遊び、いろいろな自然体験、冒険など、そのような中で、もっと大きなスケールで育てていければよいと思う。
- ・子どもの育ちがしっかりと確認できるような形を教員の資質向上と併せて振興基本計画に書きこんでほしい。
- ・家庭の経済状況の厳しさ、また、保護者の養育能力の低下、あるいはさまざまな要因が絡んで、障害がなくても支援が必要だという子ども

たちがたくさんいる。

- ・ 特別支援学校や特別支援学級での指導の充実が非常に重要であるが、経験を重ねた教員の大量退職に対応して、若手をどう育てていくかが課題である。
- ・ 例えば、私立高校におけるスポーツにおいては、全国一、二を争っている競技もあるなど、富山県の私立学校も頑張っている。振興基本計画の記載においては私立学校の状況も留意いただきたい。
- ・ 「環境」、「エコ」といった心を小さいうちから育てる、あるいは大人も持つ、ということ振興基本計画に盛り込めないか。
- ・ 新しい美術館が建つが、文化活動としての場のほかにも、社会教育施設としての担う部分についても期待したい。
- ・ 富山県で育てた人材は、富山県で活躍してもらうのが一番大切なことではないかと思う。
- ・ ICTを教育とか、学生支援にもっと上手に使っていけないか。また、人工知能により、20、30年で人間のやる仕事がなくなっていくという話があるが、例えば、好奇心、挑戦すること、創造性など人間がやらなければいけない部分を見据え、教育していく必要がある。
- ・ 昔に比べると、高校生の英語はとてもきれいになったが、外国人に県のことを説明できる英語力が大事である。
- ・ 「教育力の低下」や「教育力の格差」がある中で、子育てに不安を感じている親に対して「親学び」をしていただいているが、非常に重要な役割をはたして行くのではないか。
- ・ 子どもには、コミュニケーション能力、探究心とかが非常に大事だと肌で感じるが、加えて、例えば友達と何かを成し遂げるなどの「コラボレーション」という感覚が大事ではないかと考えている。
- ・ 中1ギャップもあるが、高1ギャップもあるのではないか。
- ・ 「富山県ならではの」、「富山県らしさ」が出ている教育振興基本計画を策定してほしい。

4 今後のスケジュール

- ・ 平成28年度中に3回程度開催の予定
- ・ 次回（10月の予定）の委員会において、素案を提示